

指定管理施設（総合福祉センター）事業評価表

母子・父子福祉センター事業分

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい			年度評価		平成28年度の実施状況		平成29年度の実施状況		前年比		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
			回数	実施日	ねらい	H28 年度	H29 年度	実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	
交流事業	1	夏季交流事業 (地球村での宿泊体験)	1	7/15～16	自然観察や自然体験を通じた健全育成の場とする。 また、子どもだけでの参加にすることで交流を深め、親もリフレッシュできることを目的とする。	14	12	1 (一泊二日)	48	1 (一泊二日)	57	0	9	・参加児童：16名 ・内容：グランドゴルフ大会、工作、レクリエーション、食事作り 等 ・その日初めて会う子どもたちが、仲間意識を深め、安全に、楽しく2日間過ごせるよう、活動内容を工夫した。3つのグループに分けて、レクや食事作りなどグループごとに協力して取り組めるよう、ボランティアの協力も得ながら行なった。 ・毎年行っているキャンプだが、ADHD等の発達障害をはじめ、個別に支援が必要とされる参加者が年々増加傾向にある。宿泊となると、リスクも大きくなることから、今後開催方法を検討する必要があると考える。
		社会見学 (春：デンパーク・刈谷ハイウェイオアシス) (秋：牧歌の里・サンプルビレッジいわさき)	2	6/4、11/12	親子で出かける機会を提供し、参加者同士の仲間づくりや体験学習の場を目的とした交流事業の一環として行う。			2	51	2	50	0	△ 1	①春のわくわく体験ツアー(6/4) ・行き先：デンパーク(愛知県安城市)・刈谷ハイウェイオアシス(愛知県刈谷市) ・参加家族：11家族 28名 ・内容：パン作り体験・園内周遊バス乗車・アスレチック ・当日、体調不良でキャンセル2名あり ・新規ご利用者4家族 ・パン作り体験では、グループに分かれて活動したため、グループの中でのコミュニケーションも生まれ、友だちができてよかったとの感想もいただいた。 ・何気ない保護者との会話の中で相談を受け、わくわくキッズクラブの利用にも繋げることができた。 ②秋のわくわく体験ツアー(11/12) ・行き先：牧歌の里・サンプルビレッジいわさき(岐阜県郡上市) ・参加家族：9家族 22名 ・内容：動物とのふれあい・クイズラリー・サンプル食品体験 ・前日、当日に体調不良でのキャンセル4名あり。 ・行き先は、以前参加者にとったアンケートを参考に決めた。 ・牧歌の里で時間を持て余さないよう、クイズラリーができるよう工夫したところ、喜んでいただけた。
		冬季交流事業 (スキー・スノボツアー)	1	1/21	ひとり親家庭の親子が、親子だけでは容易に体験できないと思われるスキーやスノーボード、雪遊びを通して、参加者同士の交流を図る。			1	45	1	35	0	△ 10	・行き先：駒ヶ根高原スキー場(長野県駒ヶ根市) ・参加家族：12家族 31名 ・申込みは14家族37名あったが、2家族6名のキャンセルがあった。 ・スキーとスノーボード、それぞれレベルに分かれてインストラクターの指導を受けた。今回は特に初心者が多かったため、職員やボランティアがサポートしながらの教室になったが、参加者からはとても満足したとの感想をいただいた。 ・熱発(インフルエンザの疑い)して体調を崩した子どもがいたが、同行した看護師とともに適切な対応をとることができた。
		寡婦交流事業 (園芸教室、座って生き生き体操、盆踊り、骨格体操、しめ縄作り)	6	6/21、6/29 8/1、8/4 11/30、 12/13、 12/16	寡婦の方の健康に関することや季節行事を通して交流を図る。			7	195	7	179	0	△ 16	・園芸教室は毎回人気があるので、6月と12月の2回行い、新規の利用者の参加もあった。(7名) ・座って生き生き体操は、老人センターで人気の講師の方に依頼し、参加者にはとても喜んでいただけた。来年度も実施予定。 ・しめ縄作りは、ひとり親家庭の親子と一緒に、親子とふれ合いながら、楽しく本格的なしめ縄を作ることができた。
		小計	10	—	小計			11	339	11	321	0	△ 18	

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい			年度評価		平成28年度の実施状況		平成29年度の実施状況		前年比		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
			回数	実施日	ねらい	H28年度	H29年度	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	
ひとり親支援事業	1	夏季休暇中の一時預かり(わくわくキッズクラブ・同窓会)	20	夏休み20日間	夏休みの期間中、ひとり親家庭の小学生を対象に、遊びや自由勉強をしながら規則正しい生活を送れるよう、子どもの活動の場を提供するとともに、保護者が安心して仕事に出られることを目的とする。	12	12	22	191	21	270	△ 1	79	・参加児童：15名(うち新規4名) ・内容：自主学習・調理実習・工作・外出・多世代交流など ・小1(3) 小2(2) 小3(3) 小4(1) 小5(5) 小6(1) ・他に3世帯問合せがあったが、定員に達していたためお断りした。(申込期間終了後) ・前年度、参加者が7名だったのに対し、倍以上の申し込みがありとても驚いた。 ・発達障害等で個別に支援が必要な児童が複数おり、当初予定していたよりも倍の職員体制が必要になり、急きょ体制を整え、小学校やたじこクラブへの聞き取り等を行った。事前に関係機関から情報が得られたことで、適切な支援に繋がれたとともに、夏休み後には小学校へわくわくキッズでの様子を伝えるなど、新しい繋がりをもつことができた。 ・色々な体験ができるよう、外部講師による教室や外出、複合施設を活かした多世代交流など、毎日の活動内容を工夫した。 ・警報の発令で半日実施できなかったり、途中で帰宅することもあったが、保護者の協力も得て、迅速に対応した。 ・定時に送迎ができない家庭もあったが、できる限り対応し、安心して預けられる環境づくりに努めた。 ・15名の児童が活動できる部屋を毎日確保するのは限界があるため、次年度は低学年児童を中心に10名の定員で行うこととする。
		児童学習支援(子ども習字教室)	24	第1・3月曜日	ひとり親家庭の子どもの知識や技能の習得をする。	13	12	24	202	24	257	0	55	・参加児童：9名 ・新しい生徒も増え、講師の丁寧な指導のもと、とても良い雰囲気に取り組むことができている。低学年から高学年まで、とても熱心な生徒ばかりで、講師も教えがいがあるとおっしゃっていた。 ・昨年度と比べ、生徒数が増えただけでなく、出席率もあがっており(特に後期)、子どもたちの頑張りたい気持ちと、それに応えようとする保護者の姿勢が表れていると感じている。 ・付き添いの保護者同士でも、(中学生の兄弟がいる母親に)中学校や部活動のことなどを聞いたり、よいコミュニケーションの場にもなっている。 ・次年度はさらに生徒数が増える予定であり、今の雰囲気が継続していくようサポートしていきたい。
		就労支援講座	1	3/18	ひとり親家庭の親が就職に役立つ技術や知識を学び、スキルアップを目指す。	10	1	1	13	0	0	△ 1	△ 13	・対象者が求める内容設定にするため、事前にアンケートをとり「マネープラン講座」を企画したが、実際には申込みがなく実施できなかった。 ・広報紙やメール配信、保育園でのチラシ配布、利用者への直接の声かけなど、できる方法は行ったが、残念ながら希望者がなかったため、今後は内容を検討する必要がある。 ・講師との事前打ち合わせや託児団体との調整など行い、開催に向けての準備はできていたため、非常に残念であった。
		小計	45	—		小計		47	406	45	527	△ 1	79	

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい			年度評価		平成28年度の実施状況		平成29年度の実施状況		前年比		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
			回数	実施日	ねらい	H28年度	H29年度	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	
相談業務	1	子育て相談		随時	ひとり親家庭の自立生活を手助けする。 相談内容に応じて、適切に関係機関に繋げる。	12	10	0	0	1	1	1	1	<相談の内容> ・【祖母からの相談】離婚した娘が手術のため入院することになっているが、仕事に復帰できるまでの生活費(傷病手当は復帰してからしか支払われない)の貸付について ・【祖母からの相談】妻と死別した息子がうつ病を発症し、引きこもりがちになっている ・生活費の貸付の申請がしたい。ネットで調べたら母子センターが出てきた ・わくわくキッズクラブとはどんなものか教えてほしい。離婚したばかりで、申請なども分からない ・友人が可児でひとり親家庭になっているが、可児の学童は満員で断られてしまった。わくわくキッズクラブに入ることはできないか？ ・養育費が入ってこないが、どこに相談したらいいか分からない等 貸付等の相談に関しては、市や地域福祉課と連携し、情報収集をしながら相談にあたり、的確な対応ができるよう努めた。 わくわくキッズクラブに関する相談も多く、申込み期限が過ぎてからの相談に関しては(定員に達していたため)お断りせざるをえないケースもあったが、教育推進委員にたじこクラブの空きがないか問合せなど、できる限りのサポートを行った。
		生活一般相談		随時				10	10	9	9	△ 1	△ 1	
		小計	0	—		小計	10	10	10	10	0	0		

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい			年度評価		平成28年度の実施状況		平成29年度の実施状況		前年比		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
			回数	実施日	ねらい	H28年度	H29年度	実施回数（回）	参加延べ人数（人）	実施回数（回）	参加延べ人数（人）	実施回数（回）	参加延べ人数（人）	
交流事業（自主）	2	<ひとり親家庭交流サロン>				13	8							・回数、人数が減少しているのは、昨年度まで行っていた「移動母子・父子福祉センター」を見直し、各児童館・児童センターの乳幼児クラブ等に訪問し、直接大人にPRができるよう方法を変更したため。（情報提供として人数をカウントしている） ・デイキャンプ、小学生水遊び、バレンタインチョコ作りは太平児童センターと合同で開催し、小学校が違う子どもと仲良く楽しむことができた。 ・ふれあいBBQは、多治見西ロータリークラブ、多治見市母子・父子・寡婦福祉会と合同で開催し、新規利用者の開拓と母子・父子福祉センターのPRにも繋がった。 ・クリスマス会は定員以上のお申込をいただき、幼児から6年生までの子どもとその保護者が楽しめる内容になるよう、工夫した。また、継続して参加していただける方も多くなり、参加者同士の交流もより深まってきているように感じる。 ・新入学お祝い会は、市内の保育園・幼稚園に対象者へのチラシ配布をお願いしたこともあり、新規の利用者が4家族あった。今後の継続した参加に繋がるよう、事業紹介を丁寧に行ったり、コミュニケーションを積極的に図るよう努めた。
		デイキャンプ	1	7/27				12	350	6	208	△ 6	△ 142	
		小学生水遊び	1	8/25										
		ふれあいBBQ	1	9/16	季節行事を通して、親子のふれあいの場、参加者同士の仲間づくりの場を提供する。									
		クリスマス会	1	12/10										
		バレンタインチョコ作り	1	2/10										
		新入学お祝い会	1	3/4										
	<多世代交流事業>					13	8							・毎年デイサービス、児童センター、老人センターと合同で行っている「でこぼこ夏まつり」が、今年度は台風で実施することができず、大変残念だった。午後から警報が解除されたため、デイサービスと母子で急きょ「夏まつり」として小さい規模で行ったが、参加者もだいぶ少なくなってしまった。 ・「でこぼこ夏まつり」に続き、デイサービスと合同で行う「縁日」も警報発令で実施することができなかった。 ・わくわくキッズクラブでは、“複合施設を活かした多世代交流”ということで、デイサービスの利用者との手話交流や老人センター利用者とのレクリエーション、雑巾作りなど、高齢者とのふれあいの場をたくさんもつことができた。 ・ハロウィンとふれあい豆まき会は、デイサービスと児童センターと合同で行い、子どもと高齢者のふれあいが少しでも多くなるよう、ゲームの内容や会場設定なども工夫した。 ・新春お茶会は、普段あまり体験することのない雰囲気の中で季節行事を楽しむことができた。また新たな試みとして、会場に絵馬掛けを設置し、今年の抱負や願い事を書いていただいたことで、よりお正月の雰囲気を味わうことができたとともに、参加利用者数の増加にも繋がった。
	手話交流（デイ）	11	7/24～8/25		20			956	17	736	△ 3	△ 220		
	わいわい教室（老人）	1	8/3											
	夏まつり（デイ）	1	8/8	デイサービス・老人福祉センター・児童センターと合同で季節行事等を行い、世代を越えて一緒に楽しい時間を過ごし、お互いに助け合う気持ちを育む。										
	雑巾作り（老人）	1	8/22											
	ハロウィン（デイ・児童）	1	10/28											
	新春お茶会（老人・児童）	1	1/5											
	ふれあい豆まき会（デイ・児童）	1	2/3											
		小計	18	—		小計	32	1,306	23	944	△ 9	△ 362		

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい			年度評価		平成28年度の実施状況		平成29年度の実施状況		前年比		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
			回数	実施日	ねらい	H28年度	H29年度	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	
趣味・教養	2	<サークル活動>			趣味・教養の講座を開催し、技能や知識の習得を するとともに、参加者同士の 交流の場とする。	13	8							・万年青の会(書道)、布ぞうり同好会、野菊の会(布ぞうり)はふれあい作品展にも出品し、日々の活動の成果を多くの方に見ていただくことができた。 ・お茶お花サークルは、新春お茶会にご協力いただき、本格的なお抹茶をたくさんの方に楽しんでいただけた。 ・どのサークルも高齢化により参加人数が減少傾向にあり、泉会(書道)は今年度で活動を終了する。火曜日夜パソコンサークルは、講師の都合によりしばらく活動を休止される。 ※Free PC倶楽部、ジュピター(ヨガ)は28年度末で終了。
		パソコンサークル	24	第1・3水曜				24	155	24	171	0	16	
		布ぞうり作り同好会	24	第2・4木曜				24	213	24	171	0	△ 42	
		万年青の会	24	第2・4水曜				24	148	24	141	0	△ 7	
		お茶・お花サークル	12	第1水曜				12	116	12	147	0	31	
		野菊の会	24	第1・3月曜				24	240	24	125	0	△ 115	
		泉会	24	第1・3月曜				24	144	24	135	0	△ 9	
		火曜日夜パソコンサークル	48	毎週火曜				48	137	48	183	0	46	
		Free PC倶楽部	24	第1・3月曜				24	135	0	0	△ 24	△ 135	
		ジュピター	24	第1・3木曜				24	91	0	0	△ 24	△ 91	
		小計	228	－					小計	228	1,379	180	1,073	
		その他	2	母子・父子寡婦福祉会		通年	母子・父子寡婦福祉会と連携を図り、活動のサポートを行うと共に、情報交換を行う。	13	14	－	－	－	－	－
情報提供				通年	母子・父子福祉センターを広く知っていただき、利用者の開拓をする。 母子・父子家庭自立支援教育訓練給付金事業を推進する。	13	14	－	356	－	649	－	293	・前年度まで行っていた児童センターへの「移動母子・父子福祉センター」から、乳幼児クラブ等で事業紹介をさせていただく方法に変更した。直接大人に事業紹介ができるようになったことと、訪問回数を増やしたことによって、より多くの方に情報提供を行うことができた。 ・例年行っている児童センター、民協での紹介に加え、若草保育園、池田保育園での保護者会でも事業紹介をさせていただき、対象者に近いところでのPRが行えたと思う。
小計	0			－		小計	－	356	－	649	0	293		
		計	0	－	－	－	－	3,796	－	3,524	－	△ 272	サークルの大幅な減少と、天候による中止で多世代交流の人数減少があったが、情報提供事業を積極的に行ったことと、支援事業での参加人数・継続した利用が増えたことにより、全体の参加延べ人数の増加に繋がった。	

(留意事項) ※「区分欄」は、指定管理者の協定書・仕様書で定められた事業は「1」、協定書等がない自主事業は「2」を記入。

「年度評価欄」は、次の内容で記入。

・仕様書以上:15～12点、仕様書に忠実:11～9点、仕様書の一部附実施(軽微):8～7点、仕様書の一部附実施(中程度):6～3点、それ以下:2～0点